

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	し尿収集事業							事業コード	540337						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり								
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222						
事業担当	所 属	05030000 市民総務部 市民課				所属長	横山 尚子								
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	03 し尿処理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁	
計画期間	開始年度	昭和		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一般廃棄物処理計画				R4現在の状況		継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、福知山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例														
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び、本市の一般廃棄物処理計画に基づき処理する。					
対象者	市民(未水洗、工事・イベント等仮設)		対象者数	-	単位あたりコスト	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	112,725		111,268		116,351		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		112,725		111,268		116,351							
予算財源内訳	① 一般財源	87,684		86,638		91,339							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	25,041		24,630		25,012							
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	112,725		111,268									
	③ 執行額	108,226		108,163									
	④ 執行率	96.0%		97.2%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.85	/	0.00	0.80	/	0.00	0.80	/	0.00			
	② 概算人件費	6,800		6,400		6,400		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		115,026		114,563		6,400		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	し尿くみ取り手数料		種類	衛生手数料		14,281		決算付属資料	14		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	し尿収集量	kL	2041	/	2200	2060	/	2200	1911	/	2100
	単位あたりコスト		52.9		52.5		56.6				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	衛生的な市民生活を維持するため、し尿くみ取り依頼者と収集運搬業者との連絡調整を実施した。 仮設便所を含め下水道等に接続していない便所がある限り、し尿収集運搬は必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	下水道、農業集落排水、合併浄化槽等の整備事業が終了しても、仮設便所を含め下水道等に接続されていない便所があるため引き続いて事業を継続する。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	し尿くみ取り依頼者と収集運搬業者との連絡調整を実施し、衛生的な市民生活を維持した。 し尿収集量は減少しているが、仮設便所を含め下水道等に未接続の便所がある現状では、衛生的な環境を維持するために欠くことはできない。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	今後も安定して衛生的な環境を維持するためにし尿収集運搬業務を継続する必要がある。【定性的評価】		
改 善 策	今後も、法及び処理計画に基づき、衛生的な市民生活を維持するため、継続して事業を実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公衆便所管理事業					事業コード	520118				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222				
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費	会計	01 一般会計	決算付属資料	146	頁
計画期間	開始年度	昭和28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	公衆トイレ(岡ノ二・内記六丁目及び野家)の清潔保持に努め、市民その他の利用に供することで、市民の衛生環境を保全を図る。										
対象者	全市民				対象者数	76,377		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()										
委託先・実施主体等	公益社団法人福知山市シルバー人材センターほか										
事業概要 (箇条書き)	公衆トイレの清掃委託、施設修繕を実施する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	需用費	173		光熱水費							
	委託料	362		清掃委託							

III 予算執行状況

区 分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	559	491	591	予算編成時記入 (3次公表時)								
	② 補正予算	0	0	0									
	③ 繰越予算	0	0	0									
	前年度繰越	0	0	0									
	次年度繰越	0	0	0									
	小計(①～③)	559	491	591									
予算財源内訳	① 一般財源	559	491	591									
	② 国支出金	0	0	0									
	③ 府支出金	0	0	0									
	④ 地方債	0	0	0									
	⑤ その他特財	0	0	0									
決算情報	① 流充用額	0	45										
	② 配当予算	559	536										
	③ 執行額	541	535										
	④ 執行率	96.8%	99.8%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.08 / 0.00	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00								
	② 概算人件費	640	560	560	0								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,181	1,095	560	0								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公衆トイレ数	箇所	3 / 3	3 / 3	3 / 3	/ 3	3
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	稼動日数	日	366 / 366	365 / 365	365 / 365	/ 365	365
	単位あたりコスト		1.4	1.5	1.5		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	公衆便所の管理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項「市町村は、必要と認める場所に公衆便所及び公衆用ごみ容器を設け、これを衛生的に維持管理しなければならない。」に基づき必要性の高い事業である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・公衆トイレにおける定期的な清掃及び不具合のチェックを行うことで、衛生的な維持管理を図れる。 ・定期的に清掃の実施及び物品の補充を行う。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	公衆トイレの清潔保持に努め、市民その他の利用に供することで、市民の衛生環境の保全を図れる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	公衆トイレの清潔保持に努め、市民等に対して公衆トイレの利用に供することができた。引き続き市民その他に対して公衆トイレの利用に供するため、継続して衛生的に維持管理を行う。		
改 善 策	引き続き市民その他に対して公衆トイレの利用に供するため、継続して衛生的に維持管理を行うとともに、利用者にも清潔に利用していただくよう張り紙掲示などにより啓発する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	環境衛生対策事業					事業コード	520130				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222				
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費	会計	01 一般会計	決算付属資料	146	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	災害に備えて衛生消毒機器を整備するとともに消毒液等を備蓄し、災害発生後は消毒作業を実施することで感染症などの防止に努め市民の衛生状態を良好に保つ。 また、蜂の駆除を行う市民に対し防護服を貸し出すことで、蜂の巣の安全な除去により市民生活の安全性を確保する。										
対象者	全市民				対象者数	76,377		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	災害に備えた衛生消毒機器の整備 衛生消毒液の備蓄・更新 災害発生後の衛生消毒業務 蜂駆除防護服の貸し出し										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	需用費	51		消耗品費							

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	468		393		381		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
	小計(①～③)	468		393		381				
予算財源内訳	① 一般財源	468		393		381				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		△ 45						
	② 配当予算	468		348						
	③ 執行額	4		51						
	④ 執行率	0.9%		14.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.06	/	0.00	0.05	/	0.00	0.05	/	0.00
	② 概算人件費	480		400		400		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		484		451		400		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額		
								決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	蜂駆除防護服貸出件数	件	106 / 0	25 / 0	37 / 0	/ 0	0
	単位あたりコスト		0.8	0.1	1.4		
	消毒実施件数	件	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	災害に備えるために必要な事業である。 ・災害時の消毒作業について、市関係各所の業務内容についての再確認を行う。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	災害に対する早期対応が図れる。 ・消毒液及び備品等の在庫確認を行う。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	一定数の備蓄を行うことで災害の早期対応に有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	災害に備え、衛生消毒剤の備蓄と消毒機器の整備を適正に行うことができた。 蜂の駆除を行いたい市民の声に対応することができた。 蜂防護服が全体的に老朽化しているため、使用者の安全確保のため、随時更新を図る。		
改 善 策	蜂防護服が全体的に老朽化しているため、使用者の安全確保のため、更新する。		

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	清掃管理一般事業							事業コード	540119								
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり										
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222								
事業担当	所 属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生										
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	01 清掃総務費		会計	01 一般会計		決算付属資料	154		頁	
計画期間	開始年度	昭和50年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画					R4現在の状況		継続中		
根拠法令等																	
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事業 ☐ その他 (																

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・廃棄物処理等の市民サービスを充実させるために、環境パークの運営に関する一般行政事務を円滑に進めることを目的としている。 ・一般事務に要する予算を一括することで、円滑な予算管理が進み事務の効率化を進める。				
対象者	全市民	対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,814		3,125		3,239		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		2,814		3,125		3,239							
予算財源内訳	① 一般財源	2,814		2,218		2,431							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		907		808							
決算情報	① 流充用額	223		△ 527									
	② 配当予算	3,037		2,598									
	③ 執行額	3,037		2,598									
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	4.71	/	0.39	4.54	/	0.00	4.54	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	38,655		36,320		36,320		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		41,692		38,918		36,320		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標		
			/		/		/		/				
			/		/		/		/				
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標		
	文書処理件数		件	886	/	700	886	/	700	825	/	700	700以下
		単位あたりコスト		3.5		3.4		3.1					
			/		/		/		/				
		単位あたりコスト											

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・環境行政事務の円滑な実施のために必要な事業であり、市民サービスの充実につながっている。事務を進める上で必要な事業である。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・コスト削減に努めることが必要であり、最低限の経費で済むよう事務の効率化などに心がけている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・活動実績は文書処理件数としている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・円滑な事務執行や、市民サービスの充実という目標の達成状況を評価する適切な指標の設定が難しい。 ・本事業の執行を通じて、環境パークの安定的で円滑な業務執行につながった(定性的評価)		
改 善 策	・無駄をなくすため、必要な事務処理と必要な経費の見極めを行い、経費節減に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山市一般廃棄物処理基本計画策定事業							事業コード	540140					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222					
事業担当	所 属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	01 清掃総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	154	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画					R4現在の状況		継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条に基づき一般廃棄物処理基本計画を策定し、進捗を管理することでごみの定期的処理及び循環型社会の形成を図る。				
対象者	全市民	対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	4,385		1,200		0		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
	小計(①～③)	4,385		1,200		0				
予算財源内訳	① 一般財源	4,385		1,200		0				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 223		△ 862						
	② 配当予算	4,162		338						
	③ 執行額	3,818		338						
	④ 執行率	91.7%		100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.41	/	0.00	0.23	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	3,280		1,840		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,098		2,178		0		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	計画策定進捗率	%		100 / 100	100 / 100	/ 0	100
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	審議会開催	回		3 / 3	0 / 0	/ 0	3
	印刷製本	回		0 / 0	1 / 1	/ 0	1
	単位あたりコスト			1272.7	338.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定められた概ね10年を期間とする計画の策定及び進捗管理事業であり、令和3年度から令和12年度を計画期間とする「福知山市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画2021)」の印刷製本を行った。 ・「福知山市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画2021)」に示す年度ごとの目標が達成されるよう、生活環境課の各施策の調整を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・令和3年度の印刷製本業務においては、コスト比較を行った上で、経験を持った民間業者に委託することにより、適正かつ効率的な遂行を図った。 ・本事業担当者が生活環境課の各施策の担当者として調整を行うことで、「福知山市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画2021)」で示した施策にスムーズに着手することができた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・「福知山市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画2021)」に定めた廃棄物減量目標等に係る実績については、令和3年度末に評価し、報告(公表)を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・令和3年3月に計画を作成し、令和3年度に計画の印刷製本を完了したため、令和7年度(中間年)の見直しに係る業務までは歳出予算は生じない見込み。 ・計画に定めた廃棄物減量目標等に係る実績については、毎年度末に評価するとともに、令和7年度(中間年)に見直しを実施する。 ・本事業において、廃棄物減量(資源化)に係る施策調整を実施し、福知山市一般廃棄物処理基本計画の進捗を管理する。		
改 善 策	・「福知山市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画2021)」に定めた計画が達成されるよう、毎年度末に実施する実績評価を生活環境課の施策に活用する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	不法投棄防止パトロール事業						事業コード	540108			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成					施策コード	222			
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生				
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	154	頁
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市街地外周部や山間部での不法投棄が後を絶たず、地域環境への影響が懸念される。 不法投棄の防止には、早期発見・早期対策が必要不可欠であるため、巡回パトロールとごみの回収を行うことにより、不法投棄防止対策の充実と市民生活の安心安全を図る。				
対象者	全市民	対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

Ⅲ 予算執行状況														
区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	4,037		4,049		4,330		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		4,037		4,049		4,330								
予算財源内訳	① 一般財源	2,019		2,025		2,165								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	2,018		2,024		2,165								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	339		124										
	② 配当予算	4,376		4,173										
	③ 執行額	4,369		4,173										
	④ 執行率	99.8%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.03	/	0.04	0.17	/	0.00	0.17	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	340		1,360		1,360		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,709		5,533		1,360		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	不法投棄防止パトロール事業(きょうと地域連携交付金)		種類	衛生費府補助金		1,824		実績金額	28		決算付属資料	頁

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	回収量	t	6	/	0	5	/	0	5	/	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	パトロール回数	回	218	/	218	218	/	218	218	/	218
	単位あたりコスト		18.4		20.0		19.1				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・自治会等による地域美化活動では、回収しきれない、ポイ捨てを含めた不法投棄の防止を図る。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。 ・年間200回以上のパトロール等の実施。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標、活動目標は最終的に不法投棄が無くなることを目標としている。 ・警察と連携し、パトロール及び現地周辺調査を行いながら、注意喚起看板の設置。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	パトロール活動は目標どおり実施し、不法投棄ごみを回収することで不法投棄行為を抑制し、生活環境の保全に努めることができた。不法投棄が無くなることを目標としているが、現状は、回収と再発の繰り返しであり、効果的な対策をしつつ、生活環境の保全のためには、パトロール活動により、回収を継続する必要がある。		
改 善 策	・警察や京都府と連携を取り、繰り返し不法投棄がある地域のパトロール活動を強化し、不法投棄防止用立看板を設置し啓発を図る。 ・自治会とも連携して監視体制の強化。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	資源ごみ集団回収報奨事業							事業コード	540113					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222					
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	154	頁
計画期間	開始年度	平成3年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画						R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市資源ごみ集団回収団体報奨金支給要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	各種市民団体の自主的な資源ごみの集団回収により、環境パークへ持ち込まれるごみ量の減少と処理費用の削減を図るとともに、PTA、子ども会、老人会などの団体による回収活動を通じて、子どもから高齢者まで、すべての人がごみの減量・分別・リサイクルの必要性を実感し、環境問題の大切さを認識している循環型社会のまちづくりを実現する。				
対象者	全市民	対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,928		4,780		4,094		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		4,928		4,780		4,094							
予算財源内訳	① 一般財源	2,464		2,390		2,047							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	2,464		2,390		2,047							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	4,928		4,780									
	③ 執行額	4,094		3,570									
	④ 執行率	83.1%		74.7%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.16	/	0.00	0.18	/	0.00	0.18	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,280		1,440		1,440		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,374		5,010		1,440		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	資源ごみ集団回収報奨事業(きょうと地域連携交付金)		種類	衛生費府補助金		1,593		決算付属資料	28		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	リサイクル率		%	16.2	/ 25.3	14.7	/ 26	14.6	/ 16	/ 24.4	28.9	
	一人あたりのごみ排出量		g/人日	529.9	/ 474.0	538.7	/ 459.6	534.3	/ 527.2	/ 524.6	503.5	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	資源ごみ集団回収量		t	1756	/ 2843	1072	/ 2882	1190	/ 1713	/ 1696	1606	
		単位あたりコスト		3.0		3.0		3.0				
				/		/		/		/		
		単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	子ども会、PTAなど多くの団体の登録が引き続きあり、制度は定着しており、市全体の再資源化に大きな割合を占めている。 ・毎年継続して資源回収団体の登録依頼を行っている。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	資源回収により処理されることで、本市の処理コスト削減が図られる。 ・毎年継続して資源回収団体の登録依頼を行っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	ごみ処理量の減少やリサイクル上昇率により把握されている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	市民による積極的な資源ごみ集団回収により、環境パークのごみの持ち込み量を減らすことに貢献している。目標値達成のためには、回収量の増加が必要であるが、新型コロナウイルスの影響もあり、集団回収の取り組みが下火となっており、活動意欲を高めるための啓発等を検討しなければならない。資源ごみ集団回収量が減少傾向にあるため、報奨金単価等の最適なバランスについて検討する。		
改 善 策	活動意欲を高めるためにパンフレット掲載や自治会、各種団体等に呼びかけるなど啓発を強化する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	第1期・第2期処分場埋立整備事業					事業コード	540123				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222				
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生				
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	156	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和13年度	関連計画名	一般廃棄物処理基本計画、福知山市循環型社会形成推進地域計画【第2期】			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	逼迫状態の不燃物埋立処分場において、第1期・第2期エリアの埋め立て量の拡大を図り、環境パーク全体の延命化を図る。										
対象者	全市民				対象者数	76,377		単位あたりコスト	2.6		
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・第1期・第2期埋立処分場嵩上工事を進めている。 埋立面積4,500㎡、埋立容量21万㎡拡大 ・令和3年度は土堰堤築造による嵩上整備実施。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	工事請負費	197,540	第1期・第2期埋立処分場整備工事、第2期埋立処分場飛灰置場改修工事								

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	10,000		174,000		70,000		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		10,000		174,000		70,000								
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	2,500		18,934		0								
	② 国支出金	0		44,666		23,333								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	7,500		110,400		42,000								
	⑤ その他特財	0		0		4,667								
決 算 情 報	① 流充用額	159		23,540										
	② 配当予算	10,159		197,540										
	③ 執行額	10,113		197,540										
	④ 執行率	99.5%		100.0%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.13	/	0.00	0.24	/	0.00	0.24	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,040		1,920		1,920		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		11,153		199,460		1,920		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	循環型社会形成推進交付金		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	44,666		決算付属資料	18		頁
			一般廃棄物処理債(補助分)			衛生債			80,400			50		
			一般廃棄物処理債(単独分)			衛生債			36,400			50		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	埋立増量	㎡	0	/	0	-	/	-	4万	/	8万	21万
			/		/		/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	単年当たり事業進捗率	%	0	/	0	100	/	100	100	/	100	100
	単位あたりコスト				10113.0		1975.4					
			/		/		/		/			
	単位あたりコスト											

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の容量確保の必要性は高い。 ・容量の確保を図るため、嵩上げ整備及び飛灰置場の整備を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・新たな処分地の確保に比べ、現処分場の嵩上を行うことでコスト削減を図った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標、活動目標については各年度の予定工事を実施し、段階的に埋立容量の拡大を図った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・第1期・第2期埋立処分場エリアの嵩上整備に合わせて、第2期埋立処分場と飛灰置場の土堰堤の築造を行い埋立処分場の容量確保を図った。 ・埋立処分場の残容量が逼迫状況となるため、最適な整備事業の進捗管理が必要となる。		
改 善 策	・現在埋立している第3期処分場の残容量に余裕がある間に、第1期・第2期の埋立が再開できるよう、事業進捗を促進する。 - また、更なる延命化に向け、産業廃棄物の搬入規制や第4期埋立処分場整備計画を進めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	3R(スリーアール)推進事業							事業コード	540131					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222					
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	156	頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画						R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	家具等の修理再生品の販売及びリサイクル体験教室を通じて、3R(スリーアール)のリデュース(ごみを減らす)・リユース(くり返し使う)・リサイクル(資源として再生利用する)に対する市民の意識向上を図り、多くの市民が3Rに取り組むことで、循環型社会形成の意識が向上した社会を実現する。					
対象者	全市民		対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	4,114		2,567		2,562		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		4,114		2,567		2,562								
予算財源内訳	① 一般財源	2,449		907		957								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	1,262		1,308		1,281								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	403		352		324								
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	4,114		2,567										
	③ 執行額	3,031		2,027										
	④ 執行率	73.7%		79.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.14	/	0.30	0.65	/	0.00	0.65	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,870		5,200		5,200		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,901		7,227		5,200		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	3R推進事業(きょうと地域連携交付金)		種類	衛生費府補助金		実績金額	886		決算付属資料	28		頁
			リユースショップ			物品売払収入			74			34		
			体験教室参加者材料費			雑入			91			46		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	リサイクル率		%	16.2	/ 25.3	14.7	/ 26	14.6	/ 16	/ 24.4	25	
	一人あたりのごみ排出量		g/人日	529.9	/ 474.0	538.7	/ 459.6	534.3	/ 527.2	/ 524.6	503.5	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	家具等の販売数		点	320	/ 320	293	/ 320	277	/ 320	/ 320	320	
		単位あたりコスト		7.9		10.3		7.3				
	体験教室参加者数		人	472	/ 660	423	/ 660	301	/ 660	/ 660	660	
		単位あたりコスト		5.4		7.2		6.7				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・体験教室や家具販売には毎回多くの申込みがあり、ニーズはある。 ・リサイクル啓発が目的であり、営利目的の事業者が実施するには適さない事業である。 ・家具等の修理再生品の販売及びリサイクル体験教室を通じて、3R(スリーアール)のリデュース(ごみを減らす)・リユース(くり返し使う)・リサイクル(資源として再生利用する)に対する市民の意識向上を図り、多くの市民が3Rに取り組むことで、循環型社会形成の意識が向上した社会を実現するうえでも欠かせない事業である。 ・家具等の修理再生品の販売の実施。 ・リサイクル体験教室及び施設見学については、新型コロナウイルス感染拡大を受け、事業縮小して実施。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・技能と経験をもった市民団体に委託することにより、効率的な事業を図っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。 ・成果目標については「未来創造福知山」及び一般廃棄物処理基本計画に基づき設定した。(R4以降は「まちづくり構想 福知山」の成果指標及び一般廃棄物処理基本計画に基づき設定)	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・修理再生家具等の販売及びリサイクル体験教室は、市内では数少ないリサイクル啓発の場となっている。 ・啓発効果の大きさが重要であり、リサイクル体験教室の開催や修理再生家具販売等により、3Rの契機となるよう啓発等の取組み及び体験教室参加者拡大のため、教室内容を見直しを行う必要がある。		
改 善 策	これまでからすべての市民が3Rに取り組まれているが、すべてのごみがリサイクルできるわけではなく、多くのごみを焼却処分や埋め立て処分を行っている現状をふまえ、まず、2Rを「排出抑制 リユース」と「再使用 リサイクル」を促すために、リユースショップの運営、修理再生家具の販売や体験教室、環境パークの施設見学等の開催することによりごみの減量化と再資源化と正しいごみの分別に対する意識を高めるため分かりやすい「ごみの分別パンフレット」の見直しを進める		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ごみ焼却施設修繕事業							事業コード	540138		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222		
事業担当	所 属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生				
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	156	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法										
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・平成12年度から稼働している焼却施設の各機械施設及び電気設備を計画的に改修、整備することで、法令及び公害防止協定の遵守するとともに、施設の延命化を図り廃棄物の適正処理を行う。				
対象者	全市民	対象者数	76,377	単位あたりコスト	1.6
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	85,390		136,253		195,783		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		△ 7,700		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		85,390		128,553		195,783						
予算財源内訳	① 一般財源	21,990		35,661		2,783						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0						
	④ 地方債	63,400		92,892		183,300						
	⑤ その他特財	0		0		9,700						
決算情報	① 流充用額	△ 5,157		△ 11,197								
	② 配当予算	80,233		117,356								
	③ 執行額	73,337		116,060								
	④ 執行率	91.4%		98.9%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.52	/	0.00	0.52	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	4,160		4,160		4,160		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		77,497		120,220		4,160		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	一般廃棄物処理債(単独)		種類	衛生債		実績金額	78,200	決算付属資料	50	頁
			下水道(灰・しさ)処理手数料			衛生手数料			14,500		14	
			市庁内ごみ手数料			衛生手数料			7,800		14	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標			
	公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下		
				/		/		/		/				
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標			
	ごみ焼却量	t	17586	/	14204	17780	/	17577	17700	/	17325	/	15832	12644
		単位あたりコスト	5.4		4.1		6.6							
			/		/		/		/					
		単位あたりコスト												

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な改修を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標については「まちづくり構想福知山」基本政策及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。 ・改修計画において適切な優先順位を設定し、設備の延命化を図った。 ・改修を行う上で有効な技術等を常に研究した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・施設の計画的な改修を行うことにより施設の延命化を図り、市内で発生するリサイクルごみの安定かつ適正な分別処理が行なえた。 ・ごみの焼却処理に発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。 ・施設の老朽化が進行する中、事業に係るコストが増大するため、改修計画の見直し等が必要となっている。		
改 善 策	・廃棄物を安定かつ適正に処理を行うとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。 ・改修工事対象設備の優先順位を設定し、改修費用の平準化を行う改修計画を策定し事業を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	水処理施設運転・維持管理事業							事業コード	540142					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222					
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	156	頁
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画				R4現在の状況		継続中
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・福知山市環境パーク及び三和町・夜久野町・大江町の最終処分場から流れ込む浸出水を適正に処理するための水処理施設をそれぞれ設置している。その施設で処理された浸出水は、放流水として河川放流をするが、その放流水質は、法令の排出基準及び環境保全協定に定められた基準を遵守しなければならない。そのため、水処理施設の機械・電気設備を計画的な整備修繕を行うとともに、水処理施設の適正かつ安定した稼働と適切な施設管理を図ることを目的とする。				
対象者	全市民	対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	35,646		86,233		41,163		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		△ 46,000		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		35,646		40,233		41,163								
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	9,334		0		0								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		4,700								
	⑤ その他特財	26,312		40,233		36,463								
決 算 情 報	① 流充用額	△ 63		0										
	② 配当予算	35,583		40,233										
	③ 執行額	32,443		38,900										
	④ 執行率	91.2%		96.7%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.32	/	0.00	0.24	/	0.00	0.24	/	0.00				
	② 概算人件費	2,560		1,920		1,920		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		35,003		40,820		1,920		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	下水道(灰・しさ)処理手数料		種類	衛生手数料		実績金額	17,871		決算付属資料	14		頁
			市庁内ごみ手数料			衛生手数料			8,071			14		
			市庁外ごみ手数料			衛生手数料			2,274			14		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	放流量	t	80926	/	120450	51682	/	120450	44853	/	120450
		単位あたりコスト	0.5		0.6		0.9				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、埋立処分場からの浸出水処理を行うことで、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標についての、遵守すべき法令及び公害防止協定について協定値をクリアした。 ・活動実績は水処理施設の処理能力に対しての放流水量としているが、下回っている。 ・施設の整備・維持管理における有効な技術等を常に研究した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・排水基準及び公害防止協定を遵守するため水処理施設の適正管理は必要である。 ・施設の適正管理を行うことにより公害防止協定の排水基準を守るうえで有効である。 ・水処理施設放流水の排出基準及び公害防止協定基準を順守できた。 ・埋立終了した処分場の廃止に向けた手続きが必要となっている。		
改 善 策	・今後も排水基準及び公害防止協定を遵守するため水処理施設の適正管理を行なう必要がある。 ・廃止に向けた手続きの必要のある処分場において、法に基づく監視を行うための準備をする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	第4期埋立処分場整備事業							事業コード	540148					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222					
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	156	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	一般廃棄物処理基本計画、福知山市循環型社会形成推進地域計画					R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・既設埋立処分場が約10年後には全て埋立が完了するため、第1期・第2期埋立処分場隣接に第4期埋立処分場の整備を行い埋立容量を確保する。					
対象者	全市民		対象者数	76,377	単位あたりコスト	1.3
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	61,817		40,385		14,705		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	△ 61,432		61,432		0								
	前年度繰越	0		61,432		0								
	次年度繰越	△ 61,432		0		0								
小計(①～③)		385		101,817		14,705								
予算財源内訳	① 一般財源	385		51,004		385								
	② 国支出金	0		26,813		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		24,000		10,000								
	⑤ その他特財	0		0		4,320								
決算情報	① 流充用額	14		1,051										
	② 配当予算	399		102,868										
	③ 執行額	399		96,903										
	④ 執行率	100.0%		94.2%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.28	/	0.00	0.29	/	0.00	0.29	/	0.00				
	② 概算人件費	2,240		2,320		2,320		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,639		99,223		2,320		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	循環型社会形成推進交付金		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	13,333		決算付属資料	18		頁
			循環型社会形成推進交付金(繰越分)			衛生費国庫補助金			13,480			18		
			一般廃棄物処理債(補助)			衛生債			24,000			50		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	埋立量確保	m ³	/	0 / 0	0 / 0	/ 0	20万m ³
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	単年当たり事業進捗率	%	/	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト			399.0	969.0		
			/	/	/	/	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の確保の必要性は高く、整備に向けて詳細設計を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・当該処分場用地は確保されており、有効に利用することで新たな処分場用地の確保に係るコスト削減を図る詳細設計とした。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標、活動目標については各年度の予定事業を実施し、段階的に埋立処分場の整備を行い、埋立量の確保を図ることとした。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・第4期埋立処分場の整備を行うため、詳細設計を行い、整備内容の立案及び概算費用の算出をした。 ・詳細設計を行うことで外周道路の整備に追加の用地が必要であることが判明し、用地の測量及び取得が必要となった。 ・既設埋立処分場の残容量が整備完了までに逼迫状況になる。		
改 善 策	・追加用地を取得するため測量を行い用地買収を行う。 ・第1期・第2期埋立処分場の高上整備を実施し、埋立処分場の残容量を確保しながら事業を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	環境パーク運転・維持管理事業							事業コード	540154		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222		
事業担当	所 属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生				
会計情報	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	156	頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・市民の生活から日常的に排出される廃棄物の処理を行なう上で、施設を良好な状態で維持しなければ、排出されるごみを適切に処理できない。このため、環境パークの施設を安全に保てるよう維持管理に努め市民生活の安全安心を図る。					
対象者	全市民		対象者数	76,377	単位あたりコスト	3.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	215,606		237,173		260,922		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		215,606		237,173		260,922								
予算財源内訳	① 一般財源	58,349		0		0								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	2,035		2,035		2,178								
	④ 地方債	0		5,700		42,700								
	⑤ その他特財	155,222		229,438		216,044								
決算情報	① 流充用額	4,757		△ 8,936										
	② 配当予算	220,363		228,237										
	③ 執行額	218,106		227,435										
	④ 執行率	99.0%		99.6%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.98 /	2.90	3.17 /	0.00	3.17 /	0.00	0.00 /	0.00	0				
	② 概算人件費	23,090		25,360		25,360								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		241,196		252,795		25,360		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	ごみ焼却施設周辺地域大気環境調査業務 (きょうと地域連携交付金)		種類	衛生費府補助金		実績金額	2,033		決算付属資料	28		頁
			一般廃棄物手数料			衛生手数料			61,569			14		
			産業廃棄物手数料			衛生手数料			134,935			14		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	廃棄物処理量(焼却、リサイクルプラザ)	t	24689	/	24620	23750	/	24584	22682	/	23973 完全処理
	単位あたりコスト		8.6		9.2		10.0				
			/		/		/		/		
	単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であるため、焼却処理等適切な処理を行うことで、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアした。 ・活動実績はごみ処理量としているが、計画量を下回った。 ・有効な技術等を常に研究し、運転管理に係る技術力の向上を図った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・施設の安全、適切な維持管理を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な廃棄物処理が行えた。 ・適正な運転・維持管理により、ごみ処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行い、法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。 ・燃料費等の高騰によりごみ処理施設の運転に係る経費の増加が見込まれるため、最適な運転管理手法の検討が必要。		
改 善 策	・廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行なうとともに、運転管理に係る手法を研究し、さらに効率化と経費の削減を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	リサイクルプラザ修繕事業							事業コード	540155						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代についでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり								
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222						
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生								
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計		決算付属資料	156	頁
計画期間	開始年度	平成15年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画				R4現在の状況		継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・市民の生活から日常的に排出される廃棄物の再資源化を行なう上で、経年劣化に伴う性能低下が著しいリサイクルプラザの各機械設備部品を計画的に整備することで、リサイクルを適正に行っていく。					
対象者	全市民		対象者数	76,377	単位あたりコスト	1.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	46,077		95,947		138,662		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		46,077		95,947		138,662							
予算財源内訳	① 一般財源	14,277		32,247		7,262							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	31,800		63,700		124,800							
	⑤ その他特財	0		0		6,600							
決算情報	① 流充用額	0		△ 11,340									
	② 配当予算	46,077		84,607									
	③ 執行額	33,344		83,884									
	④ 執行率	72.4%		99.1%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.32	/	0.00	0.46	/	0.00	0.46	/	0.00			
	② 概算人件費	2,560		3,680		3,680		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		35,904		87,564		3,680		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般廃棄物処理債(単独)		種類	衛生債		実績金額	55,300		決算付属資料	50		頁
		下水道(灰・しさ)処理手数料			衛生手数料			5,500			14		
		市庁内ごみ手数料			衛生手数料			5,000			14		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標		
	搬入廃棄物の分別処理		完全処理	/	完全処理	完全処理	/	完全処理	完全処理	/	0	完全処理	
			/		/		/		/				
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標		
	リサイクルプラザ処理量	t	3854	/	3467	4105	/	3848	3992	/	3802	3764	完全処理
		単位あたりコスト	9.4		8.1		21.0						
			/		/		/		/				
		単位あたりコスト											

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、搬入廃棄物の分別処理を行い、廃棄物の再資源化を行うため、施設の適正な改修及び維持管理を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な改修を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアし、搬入廃棄物の完全処理を行った。 ・活動実績はリサイクルプラザ処理量としているが、計画量を上回った。 ・維持管理に有効な技術等を常に研究をした。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・施設の計画的な修繕を行うことにより、市内で発生するリサイクルごみの安定かつ適正な分別処理が行えた。 ・施設の老朽化が進行する中、効率的に改修工事を行い長寿命化を図る必要がある。		
改 善 策	・廃棄物を安定かつ適正に処理を行うとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。 ・改修工事対象設備の優先順位を設定し、改修費用の平準化を行うために策定した改修計画を基に事業を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	指定ごみ袋作製事業							事業コード	540165						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり								
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222						
事業担当	所 属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生								
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	156・158	頁	
計画期間	開始年度	平成13年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画				R4現在の状況		継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	有料指定ごみ袋の導入(家庭系一般廃棄物の有料化)により、費用負担を軽減しようとするインセンティブが生まれ、ごみの排出量の抑制やリサイクルの促進が期待できる。ごみの減量により、焼却施設や埋立処分場の負荷を減少させることで、延命化を図ることが可能となり、財政負担の軽減につながる。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	42,274		42,420		61,715		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	42,274		42,420		61,715							
予算財源内訳	① 一般財源	0		180		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	42,274		42,240		61,715							
決算情報	① 流充用額	0		9,189									
	② 配当予算	42,274		51,609									
	③ 執行額	39,796		51,609									
	④ 執行率	94.1%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.23	/	0.22	0.23	/	0.00	0.23	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,390		1,840		1,840		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		42,186		53,449		1,840		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	指定ごみ袋処理手数料		種類	衛生手数料		実績金額	51,546		決算付属資料	14		頁
		指定ごみ袋広告収入			雑入			63			44		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	一人あたりのごみ排出量	g/人日	536.5	/	474.0	538.7	/	459.6	534.3	/	524.6
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	ごみ収集量(可燃・不燃・プラ)	t	11879	/	10783	12056	/	10487	12031	/	11695
	単位あたりコスト		3.7		3.3		4.3				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・有料指定ごみ袋により、費用負担を軽減しようとするインセンティブが生まれ、ごみの排出量の抑制やリサイクルの促進につながる。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・指名競争入札により、技能と経験を持った民間業者による価格競争が行われ、コスト削減と効率的な作製、ごみ袋の品質維持に努めた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標については「未来創造福知山」及び一般廃棄物処理基本計画に基づき設定した。(R4以降は「まちづくり構想 福知山」の成果指標及び一般廃棄物処理基本計画に基づき設定) ・指定ごみ袋の在庫数を毎月管理し、社会情勢に留意しながら在庫不足が生じない数量で発注を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・一般廃棄物の減量化目標は達成できなかったが、搬出量に応じた負担の公平性は確保できている。 ・コロナ禍で家で過ごす時間が増加し、一時的にごみの収集量が増加している。		
改 善 策	・新しい生活様式へとシフトしていくなか、2R(リデュース、リユース)を呼びかけることでごみの排出量の削減を進める。 ・焼却時のCO2排出量削減による持続可能な社会への寄与を目的に、令和4年度に作成する燃やすごみの指定ごみ袋の素材について、植物由来のポリエチレン(バイオマスポリエチレン)を25%以上利用することとする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ごみ収集運搬事業							事業コード	540171					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222					
事業担当	所 属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁
計画期間	開始年度	昭和57年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民1人当りのごみ排出量の削減を目指すため、市民から排出される家庭系廃棄物(可燃、不燃、容器包装プラスチック、資源ごみ、粗大ごみ等)の分別収集を確実にし、衛生的で快適な生活環境を確保する。					
対象者	全市民		対象者数	76,377	単位あたりコスト	6.3
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	476,184		474,072		474,070		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		476,184		474,072		474,070							
予算財源内訳	① 一般財源	301,645		329,848		287,547							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	174,539		144,224		186,523							
決算情報	① 流充用額	△ 49		0									
	② 配当予算	476,135		474,072									
	③ 執行額	473,383		474,069									
	④ 執行率	99.4%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.38	/	0.05	0.47	/	0.00	0.47	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	3,165		3,760		3,760		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		476,548		477,829		3,760		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	指定ごみ袋処理手数料		種類	衛生手数料		実績金額	84,386		決算付属資料	14		頁
		粗大ごみ収集手数料			衛生手数料			2,911			14		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	一人あたりのごみ排出量	g/人日	529.9	/	474.0	538.7	/	459.6	534.3	/	524.6
	分別不良によるごみ残し数	袋	16011	/	7000	20975	/	6200	19655	/	6200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	ごみ収集量	t	13332	/	11929	13484	/	11603	13410	/	13149
	単位あたりコスト		34.7		35.1		35.4				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、生活環境の保全のために収集業務の必要性は高い。 ・家庭ごみ(可燃、不燃、容器包装プラスチック、資源ごみ、粗大ごみ等)の分別収集を確実にを行う。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	福知山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、家庭ごみの定期収集を分別区分別・地域別にステーション収集を実施した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	一般廃棄物の減量化目標は達成できていないが、ごみ排出量の削減を目指すため、家庭ごみの分別収集を確実にを行い、衛生的で快適な生活環境の維持を図るという点では目的は果している。分別不良により未回収となるごみが多数あり、ごみステーション等の衛生的で快適な生活環境の維持管理をするうえでも正しいごみの分別指導、啓発ごみ排出量の削減に向け啓発を行う。		
改 善 策	分別不良のごみに対して張り紙を行い適正な分別指導啓発とあわせ収集等に関して市民からの苦情等に対して、素早く対処できるよう連絡及び指導を委託事業者との連携を図る。分別不良により未回収となるごみが多数あるという現状の中では分別の徹底及び分別啓発を行う。また、ごみ排出量の削減についても新しい生活様式へとシフト行くなか、2R(リデュース、リユース)を呼びかけるとともに正しいごみの分別に対する意識を高めるため分かりやすい「ごみの分別パンフレット」の見直しを進める啓発を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	廃棄物処理施設等運転管理委託事業							事業コード	540172								
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり										
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222								
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生										
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計		決算付属資料	158		頁	
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画					R4現在の状況		継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (																

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・環境パーク内のごみ焼却施設及びリサイクルプラザ・埋立処分場水処理施設(環境パーク・梅原・大油子・三河)の適正な運転管理を実施することにより、搬入された可燃・不燃ごみ及び資源ごみ等の焼却処理、資源化及び減量化を行なうとともに、市民の衛生的かつ効率的な処理を行い、回収資源の還元による省資源化と廃棄物の減量及び埋立処分場の延命化を図る。					
対象者	全市民		対象者数	76,377	単位あたりコスト	1.9
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	142,560		145,002		168,129		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		142,560		145,002		168,129							
予算財源内訳	① 一般財源	36,638		0		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	105,922		145,002		168,129							
決算情報	① 流充用額	0		△ 2,442									
	② 配当予算	142,560		142,560									
	③ 執行額	142,560		142,560									
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.05	/	0.00	0.06	/	0.00	0.06	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	400		480		480		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		142,960		143,040		480		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般廃棄物手数料		種類	衛生手数料		実績金額	71,280		決算付属資料	14		頁
		産業廃棄物手数料			衛生手数料			71,280			14		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標		
	公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	
				/		/		/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標		
	廃棄物処理量	t	24689	/	24620	23750	/	24584	22682	/	24242	23973	完全処理
		単位あたりコスト	5.6		6.0		.						
			/		/		/		/				
		単位あたりコスト											

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であるため、廃棄物処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備を行うことで、施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアした。 ・活動実績はごみ処理量としているが、計画量を下回った。 ・有効な技術等を常に研究し、運転管理に係る技術力の向上を図った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・施設の安全、適切な維持管理を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な廃棄物処理が行なえた。 ・ごみ処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。 ・老朽化が進む施設の予防保全に向けた運転管理が必要となる。		
改 善 策	・廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。 ・過去の運転データを基に効率的な運転手法を検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	リサイクル関連事業							事業コード	540194					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222					
事業担当	所 属	05050000 市民総務部 生活環境課				所属長	四方 幸生							
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	02 じん芥処理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	158	頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画						R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	再生資源物のリサイクル化を促進し、ごみの減量化を図る。 ごみ処理過程での火災や爆発事故を防止する。					
対象者	全市民		対象者数	76,377	単位あたりコスト	1.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	86,084		89,580		94,599		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		86,084		89,580		94,599								
予算財源内訳	① 一般財源	59,447		63,819		43,954								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	26,637		25,761		50,645								
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	86,084		89,580										
	③ 執行額	85,634		89,338										
	④ 執行率	99.5%		99.7%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.29	/	0.00	0.62	/	0.00	0.62	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	2,320		4,960		4,960		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		87,954		94,298		4,960		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	空き缶		種類	物品売払収入		実績金額	20,730		決算付属資料		34	頁
			空きビン			物品売払収入			175		34			
			有償入札提出金			雑入			6,525		48			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	リサイクル率		%	16.2	/ 25.3	14.7	/ 26	14.6	/ 16	/ 24.4	28.9	
				/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	リサイクル量(中間処理分)		t	1642	/ 2298	2932	/ 2254	2859	/ 1576	/ 1560	2060	
		単位あたりコスト		34.1		40.6		31.2				
				/		/		/		/		
		単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	資源ごみのリサイクルを促進することは、市民のごみ分別意識を高め、埋立処分場の延命化に繋がるため、必要性が高い。 環境パークリサイクルプラザ内で、資源毎の分別、保管を実施。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	経験を持った民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。 資源毎に資源引渡業者と売払契約を締結し、再資源化に取り組んでいる。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	成果目標については「まちづくり構想福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。 令和3年度より、小型家電引き渡しに取り組んでいる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	一般廃棄物処理基本計画で示しているリサイクル率の目標を達成するために、ごみの減量化及び分別排出の精度を高める啓発に努め、基本計画のリサイクル化施策の実行を促進させる必要がある。 プラスチックごみの資源化については、今後、国から提示される廃プラ処理方針に基づき、方策を進める。		
改 善 策	資源ごみのリサイクル率を向上させていくために、ごみ分別排出の精度向上の啓発や、バイオマス燃料化等の取組み、効率的かつ適正な内容となるよう調査検討する。 プラスチックごみの再資源化については、令和4年度内に家庭系燃やさないごみの質分析調査を実施し、組成及びごみ分別に要する人員並びに所有時間等を把握する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山鉱山坑廃水処理場管理運営事業										事業コード	540601			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち					政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード	222				
事業担当	所 属	25050000 産業政策部 産業観光課					所属長	山田 信義							
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算付属資料	180	頁
計画期間	開始年度	平成11年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名			R4現在の状況			継続中		
根拠法令等	鉱山保安法、鉱山保安法施行規則、水質汚濁防止法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	旧福知山鉱山の坑道から排出される強酸性(pH3)で金属成分を含む廃水を、鉱山保安法、鉱山保安法施行規則及び水質汚濁防止法に基づき適正に処理し、河川に放流することで市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図る。					
対象者	大江町の市民		対象者数	3,982	単位あたりコスト	5.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	19,905		19,418		17,823		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		19,905		19,418		17,823								
予算財源内訳	① 一般財源	433		2,427		3,502								
	② 国支出金	16,686		14,552		12,273								
	③ 府支出金	2,781		2,425		2,045								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	5		14		3								
決算情報	① 流充用額	0		△ 3,394										
	② 配当予算	19,905		16,024										
	③ 執行額	17,322		15,962										
	④ 執行率	87.0%		99.6%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.28	/	0.00	0.53	/	0.00	0.00	/	0.00				
	② 概算人件費	2,240		4,240		4,240		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		19,562		20,202		4,240		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	休廃止鉱山鉱害防止事業		種類	商工費国庫補助金		実績金額	10,195		決算付属資料	18		頁
			休廃止鉱山鉱害防止事業			商工費府補助金			1,699			28		
			電柱等占用料			商工使用料			4			10		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	処理日数のうち水質が目標基準内で処理できた日数	日	365	/	365	365	/	365	365	/	365
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	処理日数	日	365	/	365	365	/	365	365	/	365
	単位あたりコスト		55.6		47.5		43.7				
	水質検査	回	12	/	12	12	/	12	12	/	12
		単位あたりコスト	1692.6		1443.5		1330.2				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	現在でも処理前の原水は基準値を逸脱した水質であり廃水処理の必要がある。 また、鉱山事業主が不在となった鉱山のため行政が行う必要がある。 鉱山からの廃水を適正に処理し、河川に放流することは、市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全につながるため必要性は高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	受益者である在田川流域の住民は少数であるが、広域的な見方をすると在田川が合流する由良川下流域にも影響する事業である。維持管理費や薬剤費、運搬業務等は毎回複数業者による入札(見積徴収)を実施しており、経費削減に努めている。 また、修繕計画を国や府と共有し、補助金を活用することによりコスト削減を図っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	維持管理運転及び施設修繕等を計画的に実施しており、365日基準内の水質で廃水処理が行えている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	施設の維持管理や施設等修繕を計画的に行うほか、緊急修繕等にも対応し、目標基準内での排水処理を実行している。 抗廃水処理を外部委託しているものの、委託業者に指示するにあたり、水質管理や施設修繕等に関する一定の技術的な知識、能力が求められる。 専門的な知識を有する技師の参画が必要である。		
改 善 策	本施設は稼働から約20年が経過しており、毎年、老朽化や磨耗劣化等により部品等の交換や修繕を実施している。本施設を運転し続けることが、市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図るためには必要と考えるが、処理費用は年間約20,000千円の処理費用がかかっている。 修繕計画を国や府と共有し、補助金を活用することによりコスト削減を図っている。 専門的な知識を有する技師の確保について、庁内で検討を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	水洗化促進補助事業										事業コード	540318			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち					政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成								施策コード	222				
事業担当	所 属	75010000 上下水道部 経営総務課						所属長	間島哲哉						
会計情報	款	04 衛生費		項	02 清掃費		目	01 清掃総務費		会計	01 一般会計		決算付属資料	154	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市循環型社会形成推進地域計画					R4現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、福知山市浄化槽維持管理事業補助金交付要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	浄化槽整備区域内の水洗化を促進することで、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図る。				
対象者	浄化槽整備区域内の居住者等	対象者数	3,623	単位あたりコスト	19.6
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	64,073		64,070		65,730		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		64,073		64,070		65,730								
予算財源内訳	① 一般財源	60,435		60,432		63,474								
	② 国支出金	1,819		1,819		1,128								
	③ 府支出金	1,819		1,819		1,128								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		1,399										
	② 配当予算	64,073		65,469										
	③ 執行額	63,007		65,469										
	④ 執行率	98.3%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.60	/	0.10	0.70	/	0.00	0.70	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	5,050		5,600		5,600		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		68,057		71,069		5,600		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	合併処理浄化槽設置整備事業		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	702		決算付属資料	18		頁
			合併処理浄化槽設置整備事業			衛生費府補助金			1,127			26		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	水洗化率	%	68.5	/	0	69.0	/	69.2	/	69.7	71.7
	処理人口	人	2631	/	0	2563	/	2506	/	2500	2476
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	新規設置数	基	4	/	14	5	/	14	9	/	9/年
	単位あたりコスト		15832.5		12601.4		7274.3				
	維持管理補助金交付件数	件	1295	/	1301	1292	/	1298	1287	/	1295
		単位あたりコスト	48.9		48.8		50.9				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図るため、浄化槽設置整備事業補助金及び浄化槽維持管理事業補助金を浄化槽設置者に交付し、浄化槽の新規設置及び適正な維持管理を促進するために必要性の高い事業を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	交付要綱等の中で、規定に沿って行うことにより、適正に効率的に進められる事業である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	浄化槽の新規設置目標は福知山市循環型社会形成推進地域計画により14基とした。また、維持管理目標基数は過去の実績を踏まえ1,295基とした。浄化槽設置整備事業補助金の活用により、9基の浄化槽を新規設置でき、また浄化槽維持管理事業補助金の活用により、1,287基の浄化槽を適正に維持管理できたことで、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図ることができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	福知山市循環型社会形成推進地域計画における令和元年度から令和3年度までの3か年の設置目標基数42基に対して、新規設置基数は18基(達成率43%)であった。 未達成の原因として、浄化槽整備区域が山間部であり過疎、高齢化が進んでいることや浄化槽の必要性や費用負担等の理由によるものと考えられる。 しかしながら、新規設置の18世帯において、し尿のくみ取りや家庭から雑排水の排出を合併処理浄化槽により水洗化でき、令和3年度時点では1,287基の合併処理浄化槽の適正な維持管理が行われており、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成が図られている。 合併処理浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進するためにも、設置及び維持管理にかかる補助制度を浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽未設置者に対して周知する必要がある。		
改 善 策	浄化槽整備区域内における合併処理浄化槽未設置者に対し、設置及び維持管理にかかる補助制度を周知する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--